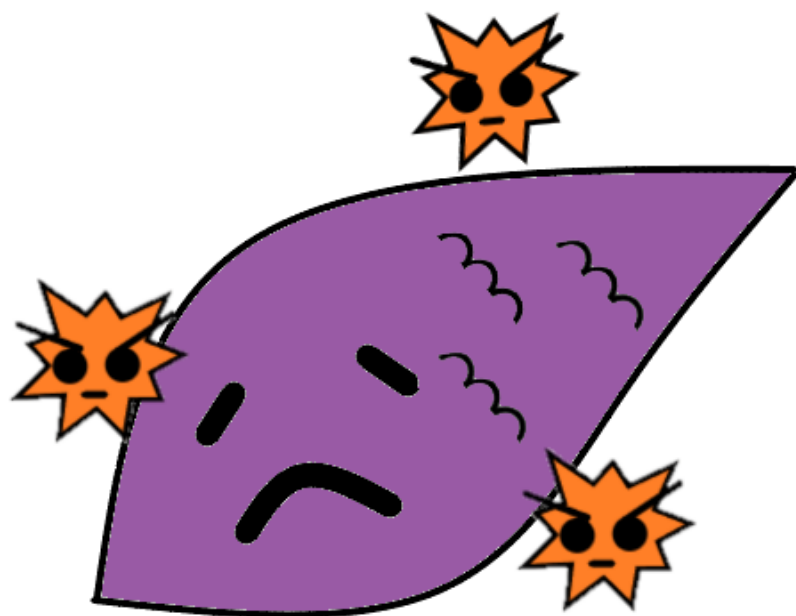


肝炎ウイルスの検査



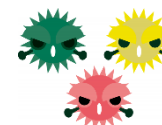
肝炎とは


肝炎とは、肝臓の細胞に炎症が起こり、肝細胞が壊れていく病気です。日本で報告されている肝炎のうち 80%がウイルス感染によるものと言われています。中でもB型肝炎ウイルスあるいはC型肝炎ウイルスの感染によるものが多くなっています。しかし、肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれ、自覚症状が現れにくいことから、感染者のうち約 7 割は自分の感染に気付いていないと考えられています。

肝炎ウイルスについて

ウイルス性肝炎を引き起こす肝炎ウイルスは、おもに A 型、B 型、C 型、D 型、E 型の 5 種類が存在しています。

(日本では D 型肝炎はほとんどみられません)



	感染経路	肝臓の病気	ワクチン
A 型肝炎ウイルス	 経口感染 (生カキなど)	急性肝炎	あり
B 型肝炎ウイルス	血液感染 (性感染、母子感染など)	急性肝炎	あり
C 型肝炎ウイルス	血液感染 (まれに性感染、母子感染など)	慢性肝炎 肝硬変	なし
D 型肝炎ウイルス	血液感染 (性感染など)	肝癌	あり
E 型肝炎ウイルス	経口感染 (豚、猪、鹿肉の生食など)	急性肝炎	なし

臨床症状

【A型肝炎、E型肝炎】

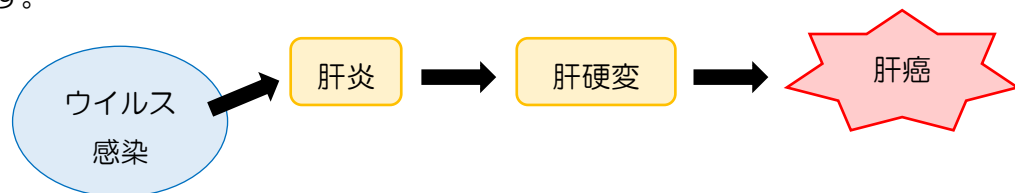
突然発熱し、それが数日間持続します。その間食欲不振、全身倦怠感、悪心・嘔吐、右季肋部痛、濃色尿、下痢などが見られ、黄疸も認められるようになります。**これらの症状は1~2週間程度で軽減します**。一般的に、A型肝炎では38度以上の高熱になることが多いです。



【B型肝炎、C型肝炎、D型肝炎】

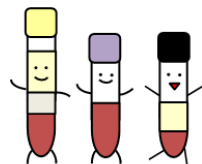
比較的徐々に食欲不振、全身倦怠感、悪心・嘔吐、右季肋部痛、上腹部膨満感、濃色尿などが見られるようになり、黄疸も認められるようになります。一般的に、C型肝炎では黄疸などの症状が軽く、D型肝炎では発症が比較的急です。

また、B型肝炎やC型肝炎の場合、急性肝炎から慢性肝炎、慢性肝炎から肝硬変、肝硬変から肝臓に移行するため、早期発見・早期治療が大切になります。



B型・C型肝炎を予防するために日常生活で気をつけること

- ☆血液が付着している可能性のあるものを共有しない(カミソリなど)
- ☆他人の血液や体液に触れないようにする。
- ☆ピアスなどは適切に消毒された器具で行う。
- ☆不特定多数の相手との性交渉は避ける。
- ☆コンドームを正しく使用する。



血液検査

それぞれのウイルスに対し、抗原や抗体などを測定して現在感染しているのか、過去に感染したことがあるのかを調べることが出来ます。当院で行われている主な血液検査を表にまとめました。

HBs 抗原	B型肝炎ウイルスに感染している (通常HBc抗体も陽性)
HBs 抗体	B型肝炎ウイルスに過去感染していた (多くはHBc抗体も陽性) B型肝炎ウイルスワクチン接種後
HBc 抗体	B型肝炎ウイルスに過去感染していた (多くはHBs抗体も陽性) B型肝炎ウイルスに感染している (HBs抗原も陽性)
HBV 定量	体内にいるB型肝炎ウイルス量を測定する 経過観察や治療効果判定に使用する

HCV 抗体	C型肝炎ウイルスに過去感染していた C型肝炎ウイルスに感染している
HCV 定量	体内にいるC型肝炎ウイルス量を測定する 陽性であれば現在感染していることを示す